
オリ神様の作成者

一石二兆円

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オリ神様の作成者

【Nコード】

N 8 6 1 6 0

【作者名】

一石二兆円

【あらすじ】

思いつきの多い変人大吉幸喜が思いつきで作った神社からなんと神様が！そして生物外になった主人公はいろいろな世界を廻る。いつたいたうなることやら・・・

現在地・幻想郷

対然神誕生！そして生物外へ・・・（前書き）

注意

この小説はチート原作崩壊などが見られます。

苦手な方は戻るボタンをクリックしてください。

対然神誕生！そして生物外へ・・・

「こんにちはーお兄ちゃん。私が私を創ってくれたの？」

光が静まるとえらい小さい女の子がそこにいた。

「私は対然神、対の物があれば出来るだけのことができる神よ」

「はい？」

こうなったのも1時間ほどさかのぼる……

僕 大吉 喜はふとした思いつきで

「そうだ、神を創ろう」

とどこぞの旅行CMの様な事を言い家の庭にあつた石にこれまた思いつきで対然神と書きレゴブロックで作つた神社に入れ作つた賽銭箱に百円を入れた、すると神社がひかり最初の場面に至る・・・

対然神
――
(以下、対)「で、お兄ちゃんの名前は？」

「幸喜——（以下、幸）「僕の名前は大吉幸喜。ところで創ったってどういふこと？」」

対「あのねーお兄ちゃんの能力が神を作る程度の能力なの！」

幸「程度つて東方かつて・ええええええええにしても対然神ちつつちゃ！ええええええええええ！」

対「驚きすぎ！後途中でなんか失礼なこと言っ
てなかった！」

幸「なんじゃそりゃ！てことはーねえ対ちゃん！」

対「対ちゃんって・・・まあいいけどでなに？」

幸「神って事は願い事かなえられるの！？」

対「出来る範囲なら・・・」

幸「出来る範囲って？」

対「神力の量だけ出来ることが増えるよ」

幸「で、対ちゃんの神力ってどれくらい？」

対「えーとねなんだかよくわからないけどお兄ちゃんに信仰されただけで普通の神に一人が信仰する神力の十万倍かな？なんだかよくわからないけど私は一人が一回信仰する分の十万倍神力がもらえるんだ！」

うわーなにそのチート、一人十万倍って

対ちゃんがほめてほしそうにしているので「すごいすごい」と言いながら頭をなでると「えへへー」と笑顔になる。かわいい・・・

これはロリコンじゃなくてもかわいと思うレベルである。

あと決して僕は 露離婚^{ロリコン} ではない。 p s ロリコンは当て字である

ちなみに対ちゃんの姿は96cmぐらいで純白（軽く発光している）のワンピースである。

幸「本当にロリコンがとびつきそうだなあ」

幸「まあ神だし年齢操作できるだろうけど」

対「ちなみにお兄ちゃんもう人外だから」

幸「へ？」

対「だからーもうあなたは人でも神でもない何者でもない者なの！」

幸「うそ――」

「絶対、絶対に死なないから。」

こうして僕の人外LAIFU（これでつづりあってたかな？）が始まった。

$$\begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

守備力7(10000000000000000000000000000000)

賢さ ∞ ）オリジナルアカシックレコードに常時つながっているため

[illegible]

スキル（2より後は神の加護でつけた）

1
神創り
能力

2 ツツコミ漫才のポジション

3 完全記憶 見たものをすべて覚える（アカシックレコードにい
れるため）

4 完全永久不老不死 魂ごと消されようが0点00000001秒で復活する不老不死になる（魔眼無効）

5 睡眠不要 永久オールナイト！

6 身体変化 なんにでも体が変化する

ほんとにチートだ……

対 ちなみに作者は小説をかくのは初めてなのであたたかく見守ってやってください。

全員 よろしくおねがいしま

能力開発（前書き）

幸 僕的能力を特訓するよ

対 まじめにやらないとどうなるかは分かってるね・・・お兄ちゃん・

・

幸 こわっ！作者くたすけて〜

作 うん！無理！（超笑顔）

幸 後で殺してやる〜！

作 アレ？ナンカサムケガ・・・

能力開発

こんにちは、大吉幸喜です。

人外・・どころか生物外になりました。

現在対然神様のありがたいお説教中です。

対「お兄ちゃん！聞いてるによ！いたっ」

幸「あ・かわいい・・」

ドカツ

幸「いったゝゝ！」

対「何か失礼なこと考えたでしょ！」

いやむしろその逆なんですけど。

こうなったのは6時間ほどさかのぼる・・

対「お兄ちゃんに生物外になったからか能力が追加されたよ！」

幸「なにっチートがさらにチート!?!」

対「えつとねーお兄ちゃん専用のアカシックレコードができたの！」

幸「うへーほんとにチートばかり。」

対「試しに使ってみてよ。」

「よし、幸

何を調べようかな？

う
ん
.
.
.
.

少年？考え中・

よし！これだ！

幸「対ちゃんの体重とすrブツ」

対「何考えてるのかな……オニイチャン……」

ギヤアアアアアアアアアアアアアアアア！

そして現在に至る・・・

まだ終わらないかな？

対「どこ見て聞いてるの！？オニイチャン！」

[illegible]

その後6時間、説教は続いた・・・

能力開発（後書き）

幸・・・殺す！

作 やられてたまるか！完全ガードバリア！

幸 うわっずるっ

作 ふははは、守ればいいのだ！

幸 もうやけくそだ！

ガンゴンガンゴンガン！

作 次回もお楽しみに！

幸 くそ！固い！

今回短くてすいません

対然神の異世界ダーツの旅（前書き）

作 とりあえずどこに逝きたい？

幸 字が違う！

対 はじまーるよー

対然神の異世界ダーツの旅

「異世界に行くよー」

幸 「へ？」

対 「だからー異世界に行くの！」

幸 「他の神とかの許可なしでいいのか？」

対 「私はお兄ちゃん的能力で創られたからそんなもの関係ないの！」

幸 「神様をそんなものってw」

対 「じゃあ行く場所を決めてね¥（>|<）」

幸 「どうやって？って、え？」

幸 喜の目の前には半径5メートルのダーツ

幸 「これできめると？」

対 「うん！（超笑顔）」

幸 「笑顔がまぶしすぎる！」

「「そーれ」」

ドカバキメキベキッ！！

・・・

どうなったかって？うんめっちゃドでかい穴開きました

幸 「で？」

対 「うん、きまったよ」
アレで決まったのアレで！

対 「うん、そうだよ」
心を読むな

幸 「で、どこへいくんだ？」

対 「幻想郷」

幸 「で、どう行くの？」

対 「あれ？驚かないの？」

幸 「もうなれた」

対 「あ、そう。じゃあ準備して」

幸 「え？何を？」

ちびっ子女神説明中・・・

対 「誰がちびっ子じゃ！アア！」

幸 「！-！どどど、どうした！」

対 「いやなんでもないよ」にこっ
作者！逃げろ！

対 「とりあえず準備しよう」

ちびk・・・神・少年準備中・・・

？ 「俺の名前は転移神。おまえが私を創ったのか？」

幸 「そうだよろしく。」

対 「ちよつとまってよ！なにがあつたの！？」

作者の都合です

対 「ふざけないでください。サクシャサマ・・・」

幸・転 「こわっ！！」

転 「さて、いくぞ」

幸・対 「おう！（うん！）」

転 「転移呪文！へ私はロリコンでありMである兄妹もないのに
シスコンである世界よ！転移せよ！」

幸 「何！？あの呪文！？変態！？」

転 「実はあれぶつちゃけ本音だ。」

幸・対 「へんたいだ〜！」

そして僕たちは、ドン引きしながら光に包まれ転移した。

対然神の異世界ダーツの旅（後書き）

作 新キャラです。

転移神

能力

世界移動

性格

変態・ロリコン（おもに対然神が対象）

対 さて…………

作 ガクガクブルブル（汗）

作 あの……おしおきです！」「ぎゃあああああああああ！

転移ミスって・・・これはベタすぎだろ（前書き）

最初の原作キャラなににしようかな

こいつは絶対アホだと確定した。

幸 「あいつは今度見つけたら封印してやる！」
ちなみに言っと落ちました

対 「まあまあ」

対ちゃん（対然神）は飛んできます。

幸 「で・・・目の前にいるのは何だ？」

目の前には体長5メートルほどの狼が。

対 「アレ妖怪。」

幸 「絶対食う気だ・・・」

狼妖怪「ジュルルル？」

対 「何で疑問系なの！？」

幸 「とりあえず対ちゃん、あいつ倒して。」

対 「まだ生まれたばかりなのにそんなことできないよ。お兄ちゃんが倒してよ」

幸 「え！？」

対 「大丈夫！お兄ちゃんはすでに生物外だから！」

幸 「それ関係n「ギャオーン！！」来たー！」

ブンッ！バキッ！ベキバキボキッ！

狼妖怪「キャーン」

テレレレレ〜ン！おおかみようかいをたおした！

ナンカ電波が・・・

幸 「うそおおおおお！倒しちゃったよ！」

対 「そりゃ生物外だもん。あ、そういえば今思い出したけどお兄ちゃんはなんにでもなれるから。」

幸 「さらにチート・・・そうだ！驚きすぎて疲れたしクールな人になろう！」

少年？変化中・・・

幸 「ふうやつと落ち着けた。」

対 「／／（赤くなっている）」

幸 「ん？どうした？対。」

対 プシュ〜

幸 「おい！だいじょうぶか！？」

対 「え、う、うんライジヨウブラヨ。」
いやめっちゃ湯気でてるって！

幸 「（どう見ても大丈夫じゃないけどな・・・）」？

とことん鈍かったりする幸喜であつた。

对ちゃんの心の中

かつこいい・・・。

そしてそのころの村では・・・

村人「この化け物^{ロリコン}が！」

転「そんな武器でやられてたまるか！逃走「コシヨウ煙幕」！」

村人「くそ〜！ハ〜クシヨンツ！」

子供たち「（誰か助けて〜）泣（）」

まだ続いていた・・・

転移ミスって・・・これはベタすぎだろ（後書き）

転 やっほ〜大漁大漁

幸 ミツケタゾ・・・

転 ・・・・へ？

幸 お前は封印じゃ〜！変化「ラピユタの雷」！

転 え？うそ？ぎゃあああああああ！

作 見る！人がごみのようだ！

対 やっぱやるんだ。

作 定番だしね〜

作 ここでアンケートをとります。「最初に出る原作キャラは誰がいいか」

対 ご協力よろしく願いします（笑顔）

対なるルーミア（前書き）

作 アンケートご協力ありがとうございました！
対 一人しかいないけどね～
作 上海二一ト様ありがとうございました！
？ それでは、はじまりはじまり～
作 お前はまだ出るな！

対なるルーミア

「あなたは食べていい人類？」

いきなりだがルーミアが目の前にいる。（転移神は埋めました）
幸「食べちゃだめ、後、俺は人類じゃない。」

ルーミア「じゃあ妖怪なのか？」

幸「いや妖怪でもない。」

ルーミア「じゃあ何なのだ？」

幸「何でもない。」

ルーミア「そーなのか」

でた！定番のセリフ！

ルーミア「じゃあいただきま「なんでだよ！」バキッ！」

幸「あ、やっちゃった。」

対「やっちゃったじゃないでしょ！」
パシッ！

幸「イタッ！」

対「ところでルーミアちゃん。」

ルーミア「何なのか？」

？「わたしはアミール、光の妖怪。」

幸「ルーミアの名前逆にただけかよ！（対のやろゝ本当にやりやつがた）」

アミール「私は闇が強いほど強くなれる」

ルーミア「どうゆうことなのか？」

アミール「あなたが強くなれば私も強くなるといふこと」

ルーミア「そーなのかー？」

対「さすがに生命創造は疲れたよ」

幸「だったらやるな！」

そのころ外の世界

？「幸はどこいったんだ〜！……………帰ろ……………」
くぱあ

？「へ？…いやあああああああああああああ！」

誰かがおそらくスキマであろう物に落ちていった

対なるルーミア（後書き）

対 最後のあれだれ？

作 一言で言うなら『主人公の相方』後、次の世界いくときは対ちやんは残していく予定。

対 うそおっ！

作 いやマジ

対 なんだ！

作 キャラ増やしすぎると原作キャラが埋もれる可能性があるから。対 で！あのロリコンもおいてくの！？

作 いやあいつがいないと世界まわれんからつれてく転 いやっしやゝ！ロリを捕まえまくるぞゝ

幸 おまえはでてくんな変化『地球破壊爆弾』！

転 それって使っていいのかゝ！

ドガーーーン ギャアアアアアアアアアアア！

作 ほどほどにしとけよゝ

対 もうほどほどのレベルじゃないよね？あれ。

作 ちなみに設定は紅魔郷の30年前です

アーミル ところで私はどうなるの？

作 ルーミアのようにそこら辺をぶらぶらしている設定。主な活動場所は明るいところ。

アーミル さて、それではみなさんこれからもオリ神様の作成者をよろしくおねがいします。

作 お願いしまゝす！

幸 まちやがれ〜！この？ロリコン！
転 ロリコンは否定しない！しかし私は馬鹿ではない！
幸 馬鹿じゃない！？だ！
転 どっちもいつしよじゃ〜！
対 二人共・・・イイカゲンニシテヨ・・・
幸・転 やな予感・・・
対 アツチデイツショニアソボウカ・・・
幸・転 全力で遠慮さしてもらいます！
対 ニガサナイヨ・・・
幸・転 ギャアアアアアアアアアアアアア！

バカと神と創造者（前書き）

更新おくれましたたごめんなさい。

バカと神と創造者

幸「で、今は紅魔郷30年前と。」

対「そうだよ」

今日は大吉幸喜です。

アミールとルーミアはそれぞれ自分の食料（人間）を探しにいきました。

幸「そういえば対。」

対「なに？」

幸「俺の変身できる物って何だ？」

対「お兄ちゃんが知っているの全部」

幸「ってこつとはー・・・変化『天空の城ラピュタ』！」

生物外変化中・・・

幸「おお本当になれた！」

対「ねっ」

幸「性格は元の性格なんだね」

対「そーなのか」

幸「いやまねしなくていいから」

対「そーなのかー」

幸「もういい・・・人里いこうか」

対「よーしいつくぞー!」

幸「対ちゃん!張りきりすぎだ!」

ラピユタ・神移動中・・・

視点・村人A

俺が畑仕事をしていると巨大な何かが現れた。

「何だこれは!」

・・・なんとなく言わなければならぬ気がしたんだよ!本当に!

視点・幸喜

あ、戻るの忘れてた。

「変化『解除』」

すると、元の体ではなく、光の玉のようなものになった。

幸「ねえ対ちゃん」

対「なーに?おにいちゃん?」

幸「なんで僕はこんな姿なの?」

対「生物外だからに決まってるでしょ」

幸「要は人間に変化しとけと。」

対「そうだよ。」

？「たすけてえええええ？」

幸「悲鳴が聞こえたけどひとつ突っ込もう！なぜ疑問系なんだ！」

対「早く助けよう！おもに私の信仰心のために！」

幸「黒いな！おい！」

いくと中学生らしき奴が3百匹の妖怪に襲われていた。

幸「いくぞ！変化『戦国BASARA本田忠勝』！」

幸「……………！」

中学生らしき奴「ほ・ほ・ほ・本田・忠勝！？」
ノリいいね！

幸「……………！」

バキッベキッゴキッ！

三百人斬り！

幸「変化『大吉幸喜』」

中学生らしき奴「ええええええ！幸！？」

幸「あああああ！」

対「お兄ちゃん、知り合い？」

幸「知り合いも何もこいつは僕の相方〔弥州羅魏^{やすらぎ} 幻想^{げんそう}〕だ。あとアホ」

幻「アホじゃない！バカなんだ！」

幸「ね？」

対「うん、わかった・・・」

幻「ここどこ？」

幸・対「幻想郷」

幻「嘘だっ！」

幸「そのノリはやめろ」

対「ねえ、幻にいい」

幻「僕のこと？」

対「あなた、能力あるよ？」

幻「嘘だっ！」

幸「だからそれはやめろって」

幻「で、どんな？」

対「魔を創る程度の能力」

幻「どんなの？」

対「魔法や魔術が使えて、魔物を創って従えることができるよ」

幻「チートだ・・・で幸の能力は？あるんでしょう？」

対「お兄ちゃんのは『神を創る程度の能力』だよ」

幻「それがチート」

対「私もお兄ちゃんに創られた神だよ。」

幻「嘘おおおおおおおおおおおおおおおおおー！
こんな感じで新しい仲間ができました。」

視点・転移神

くそー幸の奴神のことを埋めやがって・・・
ロリっ子や男の娘をさらっただけなのに・・・
作>いやそれでしょ原因<

なんか電波が・・・

こっとなったら俺の神力で・・・ふふふ・・・

バカと神と創造者（後書き）

作 次は転が異変起こします！

幸 何の異変だ。

転 幻想郷ロリっ子化異変だ！

幸 何考えとんじゃい！この？！

作 ゲーム風でいうと東方幼児化だ

幸 そのまんまだな

対 それではまたみてくださいね？ジャンケン・ポン！（ぐー）あ
ははははは！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8616o/>

オリ神様の作成者

2011年10月8日05時44分発行